議 事 録

令和7年度四万十町農業委員会4月総会

日 時 令和7年4月25日(金)午後3時30分 開議

場 所 四万十町役場 十和地域振興局 2階大ホール

日 程

- 第1 指定第1号 会期の決定について
- 第2 指定第2号 議事録署名委員の指名について
- 第3 報告第1号 農地法第18条の規定による合意解約通知について
- 第4 報告第2号 農地法第3条の3の規定による届出について
- 第5 報告第3号 非農地証明事務処理報告
- 第6 報告第4号 農地法第4条による許可申請の取消しについて
- 第7 議案第1号 農地法第3条の規定による農地等の許可申請の処分決定について
- 第8 議案第2号 農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について
- 第9 議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について
- 第10 その他

[出席委員]

1. 山部 洋平	2. 今井 満隆	3. 谷脇 誠郎	4. 小野 重明	5. 欠席
6. 下元 誠一郎	7. 浜田 大彰	8. 宮崎 恵美子	9. 山本 道雄	10. 欠席
11. 小野川 隆彦	12. 竹村 加壽子	13. 武内 道則	14. 吉良 榮	15. 中原 英昭
16. 宮脇 眞弓	17. 西川 香代美	18. 吉田 健夫	19. 太田 祥一	
20. 中城 康子	21. 岡村 博晶	22. 掛水 誠幸	23. 西内 一隆	24. 市川 絢子
25. 吉良 寛一	26. 甲把 雄	27. 廣田 智之	28. 大西 博之	29. 石田 芳秋
30. 欠席	31. 武市 敏男	32. 山本 誠二	33. 橋本 健太郎	34. 平野 直人
35. 欠席	36. 上野 渡	37. 佐々木 通	38. 秋田 公幸	39. 梶原 美智

[欠席委員]

5 佐竹 孝太	10 東出 一茂	30 澤田 憲男	35 山崎 力

[事務局]

小嶋 二夫・杉本 孝成・田村 亮・森光 愛・楨尾 拓生・山川 美恵

会長

皆さん、こんにちは。先ほど、農楽里を研修いたしました。ご苦労様でございました。いろいろお話聞きますとお米の苗を中心とあと、ゆずの方を少しやっているということで、お米の苗の方は4,000枚ほどやっておったということで、これから大正・十和地域の農業、農地を、まだ機械も揃ってないようですので、機械を使って委託するところまで行ってないですが、事務的なこと、稲の育苗的なことを委託を受けてやっておるということです。地域のリーダー格になっていただきたいと思うところです。

それと新年度4月に入りまして、先ほど紹介をいただきました、局長、前の清藤局長に引き続きまして、新しく小嶋局長が来ていただきました。大正の山陸君の後に、槇尾君が来ていただきました。この2人にはまたこれから引き続き四万十町のために、また農業委員会のために、いろいろとご尽力いただきたいと思います。新年度にもなりましたので、農業委員の皆様、推進委員の皆様、また職員の皆様には、またこの一年間どうかよろしくお願ひ申し上げたいと思います。

先月でしたか「来月、議会の人と意見交換会やりますよ」ということでしたので少しだけ、詳しいことは後でまた報告をいたしますが、町の農業関係の委員会であります産業建設常任委員、農業委員会の役員、それから職員と総勢で20名少しでしたが、意見交換会をいたしました。

産業建設常任委員会の皆さんも一新をしまして、前回5名だったんですが、今回は7名ということで、委員長の山本大輔さんを中心に議会の方々とお話をしてきました。四万十町の今後の農業について色々とお話をしてきました。農業専門というか、そういった方が少なかったんですが、四万十町の農業について、今後どうしていったらいいのかなという形の懇親会も含めて腹を割って話すことができました。詳しい内容につきましては、また報告させていただきます。本当に意味のあるいい会となりました。

これから田んぼの時期です。ポツポツはや植えてる方がおりますが、これから大型連休を迎えるわけですが、我々百姓にとってはこれから忙しい時期です。なかなか連休に、遠くまで遊びに行くことがなかなかできにくいという状況ではありますが、これから田んぼの時期でありますので、頑張って健康には気をつけていただきながら、田んぼの作業、農作業に取り組んでいただければと思っております。

今日は新年度初めての総会でございますので、どうかよろしくお願ひ申し上げたいと思います。それでは、総会に移りますのでよろしくお願ひをいたします。

議長

ただ今から、令和7年度四万十町農業委員会4月総会を開会いたします。総会は、四万十町農業委員会会議規則第7条第1項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、よろしくお願ひします。

それでは、総会の開会にあたり、四万十町農業委員会憲章の朗読を行います。今回の発声は、議席番号1番山部洋平委員にお願いいたします。それではご起立をお願いいたします。憲章は、添付資料の最後でございます。

1番

～ 四万十町農業委員会憲章の朗読 ～

委員

～ 朗読 ～

議長 本日の会議に、5番佐竹孝太委員、10番東出一茂委員、30番澤田憲男委員、35番山崎力委員から欠席の届けが出ております。

議長 次に、会議成立についてですが、四万十町農業委員会会議規則第9条の規定により農業委員17名、推進委員18名となっており、過半数の委員が出席しておりますので、本日の会議は成立いたします。本日の議事日程については、お手元に配布しておりますので、それでは議事に移ります。

日程第1、指定第1号「会期の決定について」を議題とします。お諮りします。令和7年度四万十町農業委員会4月総会の会期は、令和7年4月25日の本日1日といたしますが、これにご異議ありませんか。

委員 （「異議なし」の声あり）

議長 異議なしと認め、本総会の会期は本日1日といたします。

議長 次に、日程第2、指定第2号「議事録署名委員の指名について」を議題とします。四万十町農業委員会会議規則第24条第3項の規定により、議事録署名委員を2名指名したいと思います。議長において指名することにご異議ございませんか。

委員 （「異議なし」の声あり）

議長 異議なしと認め、議事録署名委員に17番西川香代美委員と23番西内一隆委員を指名いたします。なお、会議書記は事務局職員にお願いします。

議長 日程第3、報告第1号「農地法第18条の規定による合意解約通知について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局 報告第1号「農地法第18条の規定による合意解約通知について」ご説明します。議案書は、3ページからです。件数は窪川地域2件です。借受人・貸出人の氏名・住所については、お手元の議案書のとおりです。番号1番と番号2番は同じ地番になりまして、番号1番が耕作者と中間管理機構との合意解約、番号2番が中間管理機構から所有者に戻る合意解約となります。

番号1番、土地の所在地、宮内字今宮才能1608番1、地目、田、面積1,201㎡、外1筆あり、合計2筆、面積計2,248㎡です。解約事由は、双方合意。合意年月日は令和7年3月11日、引渡年月日は令和7年3月20日です。

番号2番、土地の所在地、宮内字今宮才能1608番1、地目、田、面積1,201㎡、外1筆あり、合計2筆、面積計2,248㎡です。解約事由は、双方合意。合意年月日は令和7年3月11日、引渡年月日は令和7年3月20日です。以上になります。

議長 報告第1号について事務局の説明が終わりました。これは事務処理報告です、特になければ、報告第1号は終わります。

議長 続いて、日程第4、報告第2号「農地法第3条の3の規定による届出について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局 報告第2号、農地法第3条の3の規定による届出についてご説明いたします。議案書は4ページです。件数は西部地域からの2件になります。なお、相続人の氏名・住所については、お手元の議案書のとおりです。

番号1について説明します。土地の所在、十和川口字ウエヤシキ111番2、地目、畑、面積882㎡。外8筆あり、合計9筆で、面積が3,359.48㎡です。届出日、令和7年4月10日、届出事由、相続、あっせん希望については、希望しないとなっております。

続いて番号2、土地の所在、十和川口字ヌタノモト233番1、地目、畑、面積47㎡。外2筆あり、計3筆、面積が158㎡です。届出日、令和7年4月10日、届出事由、相続。あっせん希望については、希望しないとなっております。

また、番号2番については3筆とも共有名義のため、持分を記載しております。説明は以上です。

議長 報告第2号について事務局の説明が終わりました。これは事務処理報告ですが、何かありませんか。特になければ、報告第2号は終わります。

議長 続いて、日程第5、報告第3号「非農地証明事務処理報告」について議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局 報告第3号、四万十町非農地証明発行事務取扱要領第6項、及び四万十町農業委員会事務局規定第8条第5号の規定により、非農地証明書を発行しましたので報告いたします。議案書5ページをご覧ください。今月は窪川地域から3件、西部地域から2件となっております。

番号1番。添付資料は1ページから2ページです。数神字下モ谷515番2、地目、畑、面積525㎡、外1筆あり、合計2筆、面積1,238㎡です。申請地は2筆とも30年以上前に県道の拡幅工事があり、その当時埋め上げられ現在に至っております。令和7年3月18日、担当委員、職員で現地確認し、証明基準のエ、人為的に転用して既に20年以上経過している土地と認め、非農地証明を発行しております。

続きまして、番号2番。添付資料は3ページから4ページです。西原字東ダ254番、地目、田、面積109㎡、外1筆あり、合計2筆、面積188㎡です。申請地は2筆とも40年以上前から建物敷地となっており、254番は30年以上前から一部墓地が建っており、現在に至っております。令和7年3月18日、担当委員、職員で現地確認し、証明基準のエ、人為的に転用して既に20年以上経過している土地と認め、非農地証明を発行しております。

続きまして、番号3番。添付資料は5ページから6ページです。黒石字コケノ川1175番34、地目、畑、面積96㎡です。申請地は10年以上耕作放棄し現在に至っております。令和7年4月7日、担当委員、職員で現地確認し、証明基準のウ、やむを得ない事情によって10年以上耕作放棄された土地と認め、非農地証明を発行しております。窪川地域からは以上です。

続いて西部地域です。番号4、添付資料は7ページから8ページです。土地の所在地、大井川字中嶋517番1、地目畑、面積159㎡です。申請地は、申請地は10年以上前より不耕作であり現在に至っております。四万十町非農地証明書発行事務取扱要領第4、証明基準のウ、やむを得ない事情によって10年以上耕作放棄された土地と認め、令和7年4月9日、担当委員との現地確認の結果非農地証明を発行しております。

続いて番号5、添付資料は9ページから10ページです。土地の所在地、井崎字ヒタヤシキ495番1、地目畑、面積140㎡。外1筆あり計2筆面積が計571㎡です。申請地、495番1は、30年以上前より倉庫が建っており現在に至ります。539番1は、10年以上前より不耕作となっており現在に至っております。令和7年4月10日担当委員と現地確認し、495番1は四万十町非農地証明書発行事務取扱要領第4、証明基準のエ、人為的に転用した土地で既に20年以上経過している土地と認め、539番1は、四万十町非農地証明書発行事務取扱要領第4、証明基準のウ、やむを得ない事情によって10年以上耕作放棄された土地と認め、非農地証明を発行しております。報告は以上です。

議長 報告第3号について事務局の説明が終わりました。これは事務処理報告ですが、何かありませんか。特になければ、報告第3号は終わります。

議長 続いて、日程第6、報告第4号「農地法第4条による許可申請の取消しについて」を議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局 報告第4号「農地法第4条による許可申請の取消しについて」ご説明いたします。議案書は、7ページです。取下げ議案番号は、平成27年度7月窪川農地部会、議案第11号、番号3番、土地の所在は魚ノ川字権右エ門屋式341番、登記地目は畑、面積126㎡の内30㎡の農地です。転用目的は墓地です。

取下げ理由については、当時、許可後、事業を実施し納骨堂を新設しましたが、計画と異なる場所に建ててしまったため、許可を取消し改めて農地法第4条による許可申請を行うものです。説明は以上です。

議長 報告第4号について事務局の説明が終わりました。これは事務処理報告ですが、何かありませんか。特になければ、報告第4号は終わります。

議長 続いて、日程第7、議案第1号「農地法第3条の規定による農地等の許可申請の処分決定について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局 議案第1号「農地法第3条の規定による農地等の許可申請の処分決定について」をご説明します。議案書は8ページからです。申請地の位置は添付資料の11ページからになります。件数につきましては窪川地域の2件、西部地域の3件、計5件です。譲受人・譲渡人の住所・氏名については議案書のとおりです。

番号1番、土地の所在地、魚ノ川字権右エ門屋式341番1、地目、畑、面積69㎡、外1筆あり、合計2筆、面積計96㎡です。権利事由は所有権移転の贈与、譲渡理由は本人希望、譲受理由は相手方の要望です。申請地では、柚子と梅を栽培する計画と

なっています。

番号2番、土地の所在地、金上野字下向7番、地目、田、面積786㎡です。権利事由は所有権移転の売買、譲渡理由は相手方の要望、譲受理由は本人希望です。申請地では、野菜を栽培する計画となっています。以上です。

続きまして西部地域です。番号3番について説明します。土地の所在地、上宮字西久山362番3、地目田、面積221㎡です。外6筆あり計7筆、面積は計3,138㎡です。権利事由は、所有権移転の贈与になります。譲渡理由は本人希望、譲受理由は相手方の要望です。申請地では、果樹を栽培する予定です。

番号4、土地の所在地、井崎字サ子ヒロ504番1、地目畑、面積1,524㎡です。外2筆あり計3筆、面積は計1,691㎡です。権利事由は、所有権移転の贈与になります。譲渡理由は本人希望、譲受理由は相手方の要望です。申請地では、茶と野菜を栽培する予定です。

番号5、土地の所在地、井崎字ケジロ543番1、地目田、面積632㎡です。外3筆あり計4筆、面積は計2,311㎡です。権利事由は、所有権移転の売買になります。譲渡理由は本人希望、譲受理由は相手方の要望です。申請地では、山椒を栽培する予定です。

以上、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。以上です。

議長 議案第1号について事務局の説明が終わりました。担当委員の補足説明をお願いします。28番大西博之委員。

28番 昨日、現地確認と聞き取りをさせていただきました。現況は畑であることは確認しております。先ほど、4条による許可申請取り消しの件がありましたけども添付資料の19ページの真ん中にあるところが、墓地になっております。

これまたこの後で案件があるんですけども、両サイドにこの今の畑があります。面積的にして1畝あるかないかぐらいのもんです。右側の方は現在、柚子が6本ほど植わっています。で、左側の方は南天があつたぐらいかな、綺麗に管理はされています。そのお墓の件なんですけどもお墓がこの譲渡人のお父さんのお墓になっています。甥っ子の子とおばさんの関係でありまして、譲渡人も高齢で甥っ子の子に渡したい、という意向でありました。特に、問題はないと思います。以上です。

議長 続きまして、番号2番。20番中城康子委員。

20番 4月23日に譲受人と面接をしまして、現況は畑であることを確認しております。譲受人は農地を効率的に利用しておりまして、ずっと通年的に野菜を栽培しています。譲受人は年間150日以上農作業に従事することはよう確認しておりませんが、毎日野菜を見に行っているようです。取得する農地ですが、営農上悪影響を与えないということを確認しております。だいたいこちら周辺、北が荒地地なんかになっておりまして、ここだけが綺麗に耕されております。譲受人は意欲的に野菜を栽培しておりまして、今後も多くの野菜を作付けする予定だそうです。番号2番の所有権移転は問題ない、と判断いたします。

議長 続きます、番号3番について。16番宮脇眞弓委員。

16番 番号3番についてですが、昨日、現況を確認してきました。譲受人と譲渡人に面会してきました。譲受人は認定農業者でもあり、地域の担い手でもある専業農家です。この譲渡人の隣の畑で栽培をしていたので、その譲渡人は、高齢になりまして管理が困難になったため、自分でこの土地をずっと保持するのが難しくなり、このままだと荒廃につながるという関係で、土地を譲渡するというこの話を相談したそうです。

この2人の関係は他人です。ちょっと昔やったらこういう事例はなかったかなと思うんですけど、自分の後継者がいないような家族だったら、やっぱり先々のことを考えて、このまま自分が持っておいてもいかにということで、誰かにそのただでもいいから譲りたいという、そういう農家が山間部ではこれから出てくるのではないかな、と感じています。

両方ともがお金の売買はないということですが、真面目に作ってあげてくださいね、ということで話をしてきました。今後、真面目に野菜を作っていくということでしたので、お願いしてきたことでした。

以上の確認の結果、番号3の所有権移転は問題ない、と判断いたしました。

議長 続きます、番号4番、5番について。36番上野渡委員。

36番 番号4番について、21日に譲受人から電話で確認しました。譲渡人には何回か電話をしましたが出てもらえず、譲渡人から確認できませんでした。現況は畑で504-1については、お茶が植えられていることを確認しています。譲受人は農地を効率的に利用して年間150日以上農作業に従事することも確認しています。取得する農地の周辺農地には営農場悪影響を与えないことも確認しています。

譲受人と譲渡人はいここで譲渡人は県外在住のため、この畑は長年、譲受人の兄が管理をしていました。ただ、その方が去年亡くなりまして譲渡人は今後も耕作していくつもりはないということで、管理をしていた方の妹にあたる譲受人に所有権を移転することになったそうです。今後、お茶はそのまま栽培して、残りの畑は自家用の野菜を作っでなんとか荒らさないようにしますと言っていました。

以上の確認の結果、番号4の所有権移転は問題ないと判断しました。

続いて番号5番について21日に譲受人から確認しました。現況は543-2は、畑で残り3筆は田であることを確認しています。譲受人は農地を効率的に利用し、年間150日以上農作業に従事することも確認しています。取得する農地の周辺農地にも営農上悪影響を与えないことも確認しています。

譲渡人は先ほどの4番の譲渡人と同じ方で、先ほど話した通り、今後耕作していくつもりはないということでしたが、この4番の譲受人もこの田んぼと畑の管理はなかなか難しいということで、遠い親戚にもなる譲受人にお願いして売買に至ったようです。譲受人は地域の担い手でもあり、番号5の所有権移転は問題ないと判断しました。以上です。

議長 議案第1号について質疑を許します。質疑はありませんか。8番宮崎恵美子委員。

8 番 赤いこの斜めの斜線は何ですか。

事務局 農地の中に墓地が入っておりまして、紛らわしくないように消しております。

議長 他に何かありませんか。

議長 1 番の案件はやっぱり取り消ししておいて、新たにということですよ、勘違いしちゃったとかそういう案件でしたね。

議長 28 番大西博之委員。

28 番 もともとは1筆、今3つに分かれていますけども、一筆でしたけども、初めにお墓の申請をしたところの位置がずれていたということで、分筆登記をしてから、移転したいという話でした。以上です。

議長 他に何かありませんか。6 番下元誠一郎委員。

6 番 1 番ですけど分筆したということですが、最初の報告第4号では、総面積が126ですね。分筆したらちょっと減っているような感じ。3つを足すと減っちゃうような気がします、やっぱり分筆したらその四捨五入でこう減っていくそういうようなものではないかな。

議長 事務局。

事務局 分筆したらですね、基本的に端数が切捨てになるんで、若干面積減るかと思います。

6 番 自分も県へ売った時に分筆して県に売って、その時に端数になって自分のあれが、おかしいよというようなことがあったので聞いてみました。やっぱり切り捨てられちゃうような感じでした。

議長 他に何かありませんか。

(「なし」の声あり)

議長 質疑なしと認め、質疑を終結したいと思います、ご異議ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 異議なしと認め、質疑を終結し採決します。議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請の処分決定について」原案のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

議長 挙手全員であります。よって、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請の処分決定について」は、原案のとおり可決されました。

議長 続いて、日程第8、議案第2号「農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局 議案第2号「農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」をご説明します。議案書は10ページです。今月は窪川地域が2件、西部地域が1件です。

番号1についてご説明します。添付資料は16ページから18ページです。申請地は、1筆、土地の所在 替坂本字ミサキノ本40番1、地目、田、面積363㎡の内30.26㎡の農地です。申請人は記載のとおりです。転用目的は墓地の新設です。転用理由は納骨堂の新設です。

農地区分ですが、申請地は第3種農地の要件の一つである、「鉄道の駅から300m以内にある農地」に該当するため、第3種農地と判断しています。転用計画につきましては、17ページの土地利用計画図に示している形で、納骨堂を整備する計画です。

周囲の状況・影響については、東側、南側はすべて申請人の農地、北側は宅地、西側は国道であり、周辺農地への影響は特にないものと考えています。土地の造成計画については、特になく、整地後全面砂利敷きとします。進入計画については、自己所有地を通過して直接進入します。

排水計画についてですが、排水は雨水のみであり、申請者所有地で自然浸透とします。関係法令に基づく、墓地埋葬法の申請は現在申請中であることを担当課で確認しています。資金計画については、金融機関の通帳残高により必要な事業費を確保していることを確認しています。

また、所有権に関する事項としまして、本案件につきましては、申請地所有者と申請人名義が違います。添付資料の18ページに、申請地所有者の相続関係図をお付けしております。申請地所有者は平成5年12月24日に亡くなっており、現在まで相続未登記となっております。農地転用許可の申請人は、農地法第4条の場合は、農地を転用する者となります。

本案件につきましては、相続関係図に記載の通り、所有者である被相続人は先ほどの説明のとおりすでに死亡、妻についても死亡しておりますので、その子らに相続権があるわけですが、三男の申請人以外から本申請地を納骨堂へ転用することに対する同意書が添付されております。番号1番は以上です。

続いて、番号2についてご説明します。添付資料は19～20ページです。申請地は、1筆。土地の所在、魚ノ川字権右エ門屋敷341番2、地目、田、面積28㎡の農地です。申請人は記載のとおりです。転用目的は墓地の新設です。転用理由は納骨堂の新設です。

農地区分ですが、第1種、第3種のいずれの要件にも該当しないその他の農地、第2種農地と判断しております。転用計画につきましては、20ページの土地利用計画図に示している形で、納骨堂を整備する計画です。当申請地は、報告第4号でご説明した案件になっておりまして、すでに墓地として整備されております。今後はこのような事態を起こさないよう反省している旨の始末書も提出されております。

周囲の状況・影響についてですが、北側は宅地、西側、東側は申請人の農地、南側は水路と幅員約6mの農道を挟んだ農地であるため、周辺農地への影響は特にないものと考えています。

土地の造成計画については、特になく、整地後全面コンクリート敷きとします。進入計画については、北側の赤線から直接進入します。排水計画についてですが、排水は雨水のみであり、南側の水路へ傾斜を取り排水します。関係法令に基づく、墓地埋葬法の申請はすでに申請済であることを担当課で確認しています。窪川地域は以上です。

続いて西部地域です。番号3番についてご説明します。申請地は1筆。土地の所在地、戸川字下サイマ1276番2、地目、田、面積、282㎡内30.11㎡です。申請人は記載のとおりです。転用目的は墓地、転用理由は納骨堂の新設です。

農地区分については、「特定土地改良事業等施行地」であるため、第1種農地と判断しました。第1種農地の転用は原則不許可ですが、農地法施行規則第33条第1項第4号に例外規定があり、「集落に接続して設置されるもの」に該当するため、第1種農地であっても例外的に許可することができると判断しています。

転用計画につきましては、22ページの土地利用計画図に示している形で納骨堂を整備する計画です。

周囲の状況は、同意ありの農地の他、申請人の宅地、公衆用道路となっております。土地の造成計画につきましては、整地後に全面砂利敷きとする計画です。また、申請地は許可前に整地を行っており申請人より反省している旨の始末書が提出されております。進入路につきましては、申請地北側の自宅敷地より直接進入をします。排水計画につきましては、雨水等は周囲の自己所有地に自然浸透する計画です。

関係法令につきましては、墓地埋葬法の申請中であることを担当課にて確認をしております。資金計画につきましては、貸付書と金融機関の残高証明にて必要な事業費以上であることを確認しております。説明は以上です。

議長 議案第2号について事務局の説明が終わりました。担当委員の補足説明をお願いします。番号1番について、7番浜田大彰委員。

7番 22日に現地を確認しに行きまして、田となっておりますが、現在は畑として利用されておりました。その後、何度か訪問させてもらったんですけども、ご本人さんにお会いすることができず3回目ぐらいで、近所の方、親戚みたいなもんで本人は言われていたけど、その方から聞くと、最近体調が悪く歩くのも様々の状態で、なかなか外へ出ることがないということで見かけてないということでした。

その後、何度か携帯の方にかけてもらったんですけど、ずっと電源電波が入ってない状態で、ご本人とお話しすることができませんでした。申請が下りたら、今現在マルチ等も張ってたんですけど、なんとか手伝ってでもやらんといかんがねとお会いした方は言われてました。

事務局の説明通りで特に転用の問題はないと思います。周りへの悪影響ですけども隣も本人さんの土地になるということでしたので、特に転用には問題ないかと思われます。以上です。

議長 続きます、番号2番について、28番大西博之委員。

28番 2番についてですが、先ほど事務局から説明した通りで、墓地が別のところに建てたものを取り下げて、新しく許可申請が出た案件でありまして、すでにお墓も出来上がっています。始末書も出ているということです。周辺も悪影響がないですので、特に問題ないと判断いたします。

議長 続きます、番号3番について、14番吉良榮委員。

14番 番号3について説明します。22日電話で申請人から聞き取り調査23日現地確認しました。現在ある先祖墓ですが、200mほど登った山の中にあります。昔、申請人の家があった近くです。このお墓のあるところですが、昨年裏山が崩れそうで家を移転したいと案件に出ているところの上に位置しております。

確認に行った時、両親がいました。申請人からも話を聞いていましたが、詳しく話をさせていただきました。高齢にもなり急な山道を登ってお墓へ行くことも困難になった。このままでは先祖のお墓を守っていくこともできない、ということで申請をしたそうです。また、ゆくゆくは2人が行くところなので、いつ崩れるかわからないところへ行くよりかは、今、家の近くに安心できるところへ行けるところが良いとも言っていました。

申請地の周りはほとんどが自分の土地で、水路を挟んだ西側に少し他人の土地があるだけで、雨水は自然浸透となりますが、周辺農地へ悪影響を与えることもありません。関係する住宅、土地所有者からも同意を得ています。墓地としても必要最小限の面積となっております。

議長 議案第2号について質疑を許します。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長 質疑なしと認め、質疑を終結したいと思います、ご異議ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 異議なしと認め、質疑を終結し採決します。議案第2号「農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」原案のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

議長 挙手全員であります。よって、議案第2号「農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」は、原案のとおり可決されました。

議長 続いて、日程第9、議案第3号「農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局

議案第3号「農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」をご説明します。議案書11ページ、今月は窪川地域の1件です。番号1番について説明します。(添付資料は23～26ページです。)申請地は、2筆。土地の所在、見付字カヤノ木735番1、地目、畑、面積162㎡、同所字同736番1、地目、畑、面積295㎡、合計2筆、面積457㎡の農地です。権利事由は売買による所有権移転です。譲受人・譲渡人は記載のとおりです。転用目的は一般住宅の新設です。転用理由は、現在借家に住んでいますが、子供も生まれ手狭となったため新たに自己住宅を建築するものです。

農地区分ですが、申請地は10ha以上の農地の広がりがある農地内であり、第1種農地と判断しました。ただし、第1種農地の不許可の例外規定である、農地法施行規則第33条第1項第4号の「集落に接続して設置されるもの。」に該当し、第1種農地であっても例外的に許可できると判断しています。

転用計画につきましては、24ページの土地利用計画図に示している形で、住宅、駐車スペース、物干しスペース、家庭菜園スペース、バーベキュースペース等を整備する計画です。

周囲の状況・影響については、西側は町道を挟み宅地、北側、東側、南側は同意有の農地となっており、特に影響はないものと考えています。

土地の造成計画については、特になく整地のみとします。進入計画については、東側の公衆用道路から直接進入します。進入部分の工事は特にありません。排水計画については、雨水は自然浸透、生活排水は合併処理浄化槽を設置し、申請地西側の町道側溝へ接続し排出します。また、排水にあたっては、町道を横断し既存の町道側溝へ接続するため、工事許可、道路占有許可等が必要ですが、現在担当課と協議中で許可見込みであることを本町建設課にて確認しています。

資金計画については、借入の見込証明書により、必要な事業費を確保していることを確認しています。説明は以上です。

議長

議案第3号について事務局の説明が終わりました。担当委員の補足説明をお願いします。番号1番について。20番中城康子委員。

20番

23日に譲渡人に面接をしまして、土地の確認をいたしました。24日に譲受人の方と電話で確認しております。

譲受人は許可がおり次第着工したいという旨を確認しております。それから周辺農地、西側が宅地ですか、その隣がなんかちょっとした工場がありますけど、その向こうは荒地になっておまして、営農への影響はないと思われます。排水も合併浄化槽を設置しまして、町道の横の側溝へ流す予定になっているみたいです。この案件の転用は問題ないと判断しました。以上です。

議長

議案第3号について質疑を許します。質疑はありませんか。

議長

この案件、見付地区の今度高速が通る予定のところですので、赤線で点々がついておりますが、今度、橋がつく予定になっているところです。最近私のよく通る通り道ですが、高速に関する移転で建った家とか今回は高速に関する立ち退きの移転ではありません

が、この周辺では最近よく家が建っているところです。

議長 他に何かありませんか。

(「なし」の声あり)

議長 質疑なしと認め、質疑を終結したいと思います、ご異議ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 異議なしと認め、質疑を終結し採決します。議案第3号「農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」原案のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

議長 挙手全員であります。よって、議案第3号「農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見決定について」は、原案のとおり可決されました。

議長 続いて、日程第10、その他の件について議題とします。

議長 私の最初の挨拶にありました町議会議員との意見交換会が16日にありましたので、報告をさせていただきたいと思います。町には、一応3つの常任委員会がございまして、総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会。この産業建設常任委員会、産業の部分と建設の部分ということで、我々、農業者にも関わってくる部分の委員会でございます。産業建設常任委員会の委員長が山本大輔さん、伴ノ内さんが副委員長で、後のメンバーとして武田秀義委員、林健三委員、水間淳一委員、味元和義委員、緒方正綱委員という7名が今回なっております。

この前までは5人のメンバーでしたが、議会の改正がありまして、1人が2つの委員会に属してもいいよということになりましたので、前は5人でしたので1人欠席したら4人しかおらんと、その中で意見交換やってもなかなか活発な意見が出にくいなということで、それもありまして、7名8名の中の各常任委員を、1人が2つの掛け持ちで、やっていいよということになりましたので、今回この7名のメンバーの方々と、我々役員、職員のメンバー合計20数名で意見交換いたしました。

最初にまず農業委員会っていうところはどういう仕事をしているのかっていうのを事務局から、説明をしていただきました。あまりこういう機会がありません。委員さんも初めての委員さんがほとんどでしたので、議員さんの方も。どういう仕事をしているのかということ、説明をしていただきまして。それから、ざっくばらんな意見交換をしようじゃないかということになりました。いきなり最初に害獣の金網の補助はあるとか、それは農業委員会が補助を出しているところじゃないですと。補助金は農林の方からとか。そういう初歩的な質問もございました。

出た意見を読ませていただきたいと思います。以前、我々も農業委員会に取り上げたこともあります、農機具の中古情報を出したらどうかという意見もいただきました。

我々も検討しておりますという答えでした。

農事組合の集落営農ですが、そういった方々の取り組みの中で四万十町結構、農事組合多いんですが、なかなか存続自体もなかなか大変な状況になっておるということで、特に機械の問題なんかも、機械の更新の問題をそれぞれ抱えているところもあるということで、組合とか法人の機械がなかなか難しい。それから法人であれば、なんとか機械の補助なんかも受け入れやすい条件が整っているものが、同じ農事組合、集落営農的なものにはなかなか機械の更新なんかに許可がないという実態もあるということで、できれば個人にも支援をしていただきたいもんだということの意見も出ておりました。

それから、議員さんの中でも地域の聞き取り調査を行ってくれているそうです。今回はどこどこ地区、今回はどこどこ地区と決めて議員の皆さんが聞き取り調査をしてもらっていると、その中でなかなか後継者不足であって、農地もあるが難しいと。貸し手と借り手のマッチングがなかなか借りてくれる人がおらんとか、そういったような問題も実際聞き取り調査をして、そういった意見もあったということでした。農業委員会はそのマッチング作業をしているのかとか、そういう質問もありました。

それから昨日山林の伐採の後の土砂の流出、水路への流出等もあって、実際困っている状況もあるといった意見も出されました。

それから農業者年金の加入率はどうなっていますかということで。以前も私も農業委員やりよったと。なかなか農業者年金の加入率を上げよと以前は言われておったが最近はどうなっていますかとかいう質問もございました。

そんな形で四万十町は一次産業中心の町ですということ、やっぱりその一次産業を盛り上げていくようなことをやっぱりやっていかないと、教育も大事だし、それから福祉、老人問題、いろいろ大事なこともあります。まずは四万十町の第一次産業は、農業、林業、漁業が盛り上がっていかんと四万十町全体が盛り上がるんじゃないかということ、みんなで再確認をいたしました。

これを第一次産業の中心の町やと言えるような、そういった取り組みを今後からもしていこうと。それから、議会との意見交換会も、年に1回とか数年に1回とかじゃなくて、これが必要であるという形で第一次産業を盛り上げるためにはどうしても必要な事項がおきたときには、産業建設常任委員会の皆さんにもお集まりいただいて、一緒に意見交換をしながら、四万十町独自の事業、独自の予算そういったものも組んでいこうじゃないかと。他がやりよらんかって四万十町独自の事業なんかも組むぐらいのこともやらんと、四万十町の農業を盛り上げていくのはなかなか難しいねと、そういう話も出ましたのでいろいろ皆さん、農業に関する第一次産業のプロばかりですので、そういった方々の意見も聞きながら議会とも色々と意見交換をしながら、四万十町の農業を盛り上げていきたいというような形の最後の懇親会も含めた状況で盛り上がって、最後は町議の皆さんに聞いてもらいたいですという意見があったら、お話をする機会を設けてもらってもいいですかって言ったらいいですよという返事もいただきました。

陳情の機会ではありませんので、町議皆さんと一緒に四万十町の一次産業を盛り上げていくために、こういう集まる機会も今後、積極的に設けていったらいいなという形で、懇親会の席でもそういう話ことができました。本当に有意義な会だったということに思っております。役員の皆さん、職員の皆さんも参加していただきましたので、感じたことが

ありましたらお願いします。

3 番 NOSA I の中古の農機具の情報が結構出ていますので見てもろうたらと思います。

議長 以前、広報でも取り組んだらどうかという話は出ていましたけど、NOSA I にもあるってということかもわかりませんが、一応広報委員さんにお任せしています。まず情報がなければ出せんですし。

22 番 28 日月曜日、10 時から私の圃場が 1,705 m²と 1,810 m²の田んぼがありまして、町の方が四万十川の汚れをできるだけ止めたいということで、ホウ酸を使用した泥の沈殿が早いそうですので、四万十川をできるだけ汚したくないという話で、ホウ酸を使用してくれという話が来ました。この取り組みについては、町としては四万十川の清流保全ということで、3 年ぐらい前から色々なところでこの試験をしてるそうです。もし興味のある方は、代かきの時にやりますので見に来ていただきたいというのが一点目です。

それと先だって荒がきをしてる人が掛け流し水路から水を入れっぱなしで、排水の方の板がきつかったもんで、オーバーフローしてそのまま川に流れる状態で、下流の集落の方から苦情が来まして私の方に。注意してくれんやおかということで、その人には注意をしたことをごさいましたが、各農業委員の皆様にはですね、やっぱり川の保全という意味で泥が四万十川に入るような機会があればですね、できるだけ注意をしてですね、四万十川の保全をするのも農業委員の一つの役割ですので、ぜひお願いしたいと思います。以上です。

議長 事務局から報告があります。

事務局 事前にお手元に皆さん、お配りしている資料についてご説明します。完結にご説明させていただきます。A 3 の裏表記載のある、カラー刷りの分になっているんですけど、最適化活動の目標を毎年設定しておりますが、それについて各委員さんが、実績を点検、評価、自己評価していくものになります。これは必須の取り組みにもなってくるので、頑張っ書いていただきたい所は A 3 の裏面、新任の委員さんは多分初めてなんで、分からないかもしれないですけど、勘のいい委員さんはすでに書いている人もいるかと思うんですけど、この赤い四角のところは一年間の取り組みの結果を受けて、委員さんなりの点検評価、自己評価を記入していただくようになります。別紙にですね、A 4 の②自己の点検評価、活動実績の記載例というのがありますので、これを参考に記入をお願いしたいと思います。

できたら今日帰りがけに、事務局の、山川さんのところに出していただけたら非常にありがたいんですけど、無理やったら後日で構いませんので、必ず事務局の方に出していただきたいと思います。これ去年も全員に出していただいておりますので、よろしくお願いします。

これですね、見方を説明しますが青色の A 3 ですね。青色のところは、各委員さんの最適化活動を行った日数になっています。新任の委員さんも 9 月からの任命なので、9 月以降の数値になっているかと思えます。

もう一つですね。別紙でお配りしている裏表のカラー刷りのやつなんですけど、右肩にR 6って書かれたのと、右肩にR 5って書かれた文があります。R 6の方を見ていただくと令和6年度の最適化活動実績集計表ということで、全部の活動の日数の集計になっています。例えば、2番の活動項目の2番、農地の集積に向けた活動、これ1、2、3、4、5番とありまして、例えば1番の意向把握については、農業委員さんが全部で178回、推進委員さんが173回。旧の農業委員さん、推進委員さんが19回、合計で370回の活動をされたということになります。

現地確認とか、新規参入の促進活動とかありまして、下から4行目の最適化の活動日数というところ、これ1、5を除くとありますが、1番、5番は総会に出たとか、農業者年金の推進をしたとか、農業新聞を進めたとか、そういったとこの活動になるんで、そこは最適化の活動にはなりませんので、最適化の活動日数、2、3、4番についてが、農業委員さん907回、推進委員さんが922回、旧の委員さんが117回で合計が1,946回。一人あたりの平均の年間の最適活動日数の平均が49.9回となっています。

対してR 5の裏面見ていただきますと、去年は平均で57.2回ということで約8回7回ぐらい減っています。去年結構出来が良かったのもあるかと思いますが、若干減ってきておりますので頑張ってまた今年もやっていただけたらと思います。一番活動の回数を増やすのが、上手な方はですね、だいたい月に6回、まず現地確認をされて、プラスアルファで意向確認とか新規参入の方とかにフォローアップしたりとかいうことやっていますので現地確認で6回をやっていただくと、非常に回数を増やしやすのかなというふうに思います。

あと、右の黄色のところは最適化の活動日数で各10回ずつで人数を該当の委員さんを入れてあります。令和6年度については100回以上行った方はゼロです。去年は1人いたんですが、今年はゼロでした。90回から100回未満の方が2人、この右側のカッコの数は新任の委員さん以外のところになります。新任の委員さんはどうしても9月からの活動なので、回数自体は少なくなってくるので、ベテランの委員さんがカッコの数というところになります。

ですので、例えばR 6年の40から50回未満のところを見てもらうと該当委員さんが9人でカッコが7人とあります。これ2人、新任の委員さんで40回から50回されている方がいるということです。ですので、倍ぐらいしたら、新任の委員さんならば90回、100回とかがまだいけるんじゃないかなというところなんです。そしたら戻りまして、できたら活動実績、一年間通して、自己評価の記載をお願いできればと思います。自分からは以上です。

議長

なければ、その他の件については終了いたします。これで、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

以上をもちまして、令和7年度 四万十町農業委員会 4月総会を閉会いたします。礼。ありがとうございました。

閉会 午後5時10分

この議事録は四万十町農業委員会職員が記録したものであり、内容は正確であることを認める。

令和7年 月 日

会 長 _____

署名委員 17 番 _____

署名委員 23 番 _____